



広報

社協  
だより おしらせ版

vol.25

発行：令和7年8月20日

新庄市社会福祉協議会

電話：22-5797

【9月号】

## いっぷくオレンジカフェを実施します！

**地域をつなぎ・支える**  
**【認知症カフェ】**



ドリームネストの『K&K』による演奏

令和7年7月17日(木)の「いっぷくオレンジカフェ」は、和やかな雰囲気で、介護施設ドリームネストの『K&K』よりギター演奏をしていただきました。

認知症カフェ（オレンジカフェ）は、お茶を飲みながら気軽な雰囲気で認知症について学ぶカフェです。

もの忘れて悩んでいるご本人やご家族はもちろん、関心のある方はどなたでも参加できます。コーヒーを飲んでひと息つきたい方、介護経験談を語り合いたい方も大歓迎です。

ストレッチやミニ座談会などリフレッシュできる内容で、みなさんをお待ちしています。

（予約不要・出入り自由）

### オレンジカフェと呼ばれる理由

日本では、認知症の施策として2015年「新オレンジプラン」を掲げました。これは、認知症の方が住み慣れた地域で変わらずに生活できるようにすることを目的とした国の施策です。

この新オレンジプランから、認知症カフェは、オレンジカフェとも呼ばれることがあります。

お気軽に立ち寄りください！



■開催日：毎月第3木曜日（次回9/18）  
 13時30分～15時00分

■参加費：無料

■内 容：音楽健康指導士による介護予防体操

■場 所：ひと休み・いっぷく（沖の町5-11）  
 かしわや靴店さん隣  
 オレンジ色の のぼり旗が目印です。

◆いっぷくオレンジカフェは、『NPO法人すぎのこハウス』の協力のもと、新庄市の認知症施策の一環として新庄市地域包括支援センターが運営しています。

お問い合わせ

地域包括支援センター  
 担当 鈴木  
 ☎ 28-0330

# 梨の木ふれあいサロンをご紹介します。



令和7年7月3日(木)、梨の木ふれあいサロン(代表:高橋邦子氏)にお伺いしました。

現在の参加者は7名で、町内の希望者で構成されています。平成26年5月に開設し、今年で11年目になりました。

普段は、お茶飲みしながら、和やかに懇談していますが、今回は本会職員(新庄市地域包括支援センター)が訪問し、認知症や熱中症予防についてのミニ講話が行われ、『健康かるた』で介護予防にも取り組みました。

また、お題に合わせて体を動かしたり、早口言葉をリレーしたり、皆さんが得意な料理や好きな温泉、楽しんで行っている事などもお話しされ、大賑わいの

サロンとなりました。

- 場所: 梨の木公民館
- 開催日: 毎月第1・3木曜日  
13時30分~16時30分
- 参加費: 1回100円
- 内容: お茶のみ、懇談等

## ふれあいサロンとは?

地域住民が主体となって運営・参加を行い、高齢者の方はどなたでも参加できる地域交流の場です。新庄市では、現在、29のサロンが活動しており、社会参加への意欲を高め、介護予防、認知症予防、閉じこもり予防の効果が見込まれています。ぜひご参加ください。

## 赤い羽根共同募金 「企業募金推進委員」募集のお知らせ

新庄市社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金の企業募金活動を推進する『企業募金推進委員』を募集しています。

企業募金推進委員は、地域の企業・団体に対して募金の趣旨を伝え、協力を呼びかける役割を担います。地域貢献に関心のある方、福祉活動に携わりたい方のご参加をお待ちしています。お気軽に、お問い合わせください。

■問合せ先:新庄市社会福祉協議会 小野まで

